

セレモニーに出席したJA役職員や関係者



広い駐車場を完備した新店舗



住宅ローンセンターを併設し 宝木出張所がグランドオープン

J Aは8月2日、宇都宮市宝木町の宝木出張所を、新たに住宅ローンセンターを併設した形でグランドオープンしました。グランドオープンセレモニーにはJA役職員、関係者28人が出席しました。

店内は金融・共済業務の同出張所と、同センターの窓口をそれぞれ設置。両窓口の中間には、ガラス板で囲みプライバシーに配慮した相談コーナーを設けました。延べ床面積は約354平方㍍。

同JAの横松久夫組合長は「プライバシーに配慮し、利

用者が相談しやすい店舗になっている」と期待を込めました。

の支援、具体的に



昭和こども食堂支援強化 購入額のキャッシュバックも



JAは7月7日、宇都宮市戸祭4丁目の昭和こども食堂への協力体制強化を図る話し合いを同市砂田町の南部営農経済センターで行いました。横松久夫組合長、女性会の所洋子会長、青壯年部の黒崎浩史部長、同食堂の施設管理者の荻野友香里さんが出席しました。

今回は、新型コロナウイルスの感染拡大により、同食堂の利用者が増加していることを受け、通年での具体的な支援策を確認しました。食の全面バックアップとして、7月からJAグリーンインターパーク直売所の利用による購入額のキャッシュバック支援(食堂運営費の補てん)と地産地消を推進します。また、女性会は調理ボランティア、青壯年部は農畜産物の提供を通して継続的な支援を行います。

JAグリーンインターパーク直売所を視察する
黒崎青壯年部長、横松組合長、荻野さん、所女性会長(左から)

昭和こども食堂で初の調理ボランティア 女性会が継続的に支援

女性会は8月23日、同食堂で初めての調理ボランティアを行いました。

JAでは2019年より同食堂へ農畜産物の提供など支援を行っており、今回から新たに女性会が調理ボランティアとして月に一度継続的に支援を行います。

8月は、JAうつのみや女性組織みどり会瑞穂野支部・螺良朋子支部長ら2人がボランティアに参加しました。管内農畜産物を使い、チキンソテー、カレーライス、ナスの揚げ浸し、野菜サラダを約30人分作りました。また、みどり会瑞穂野支部会員手製のフリークロスを贈呈し、喜ばれました。

みどり会の所洋子会長は「これまで高齢者へのボランティアは行ってきたが、子どもたちへの支援活動は機会がなかった。女性会はこれからも地域の人たちのために活動を続けていきたい」と話しました。



昭和こども食堂で初めて行われた調理ボランティア



瑞穂野支部会員手製のフリークロスを贈呈

特集 子ども食堂・フードバンクへ



JAは、昭和こども食堂とフードバンクうつのみやへの支援強化に取り組んでいます。社会貢献の一環として、またSDGs視点から積極的な姿勢を示しています。同食堂に対しては7月から、食の全面的なバックアップ支援(食堂運営費の補てん)と地産地消を推進しています。また女性会は8月から月1回、調理ボランティアを実施し、旬の野菜などを使った家庭料理を提供しています。青壮年部は、同食堂と同フードバンクに対し、農畜産物の定期的な提供をしています。今回はJAの具体的な取り組みを紹介します。



フードバンクうつのみやに食品贈呈 宇都宮市の南部地区

南部営農経済センターと金融・共済店舗の南部支所は7月27日、米約70kgと段ボール4箱分の缶詰などの食料品を宇都宮市塙田2丁目のフードバンクうつのみやに贈りました。

JAは、フードバンクうつのみやへの法人会員入会および食品などの提供を今年1月から行っています。今回はJAの南部地区にあたる同センターと同支所の職員と理事・監事の役員が米や家庭の食品を持ち寄りました。

同支所の岡本稔支所長は「今回は役職員だけだったが、今後は地域の農家やお客さまにも協力を呼び掛けていきたい」と地域を挙げての協力を示しました。

岡本支所長(左から2人目)から食料品を受け取った徳山理事長(右から2人目)



フードバンクうつのみやに米提供 青壮年部



黒崎部長(左)から米を受け取る徳山理事長

青壮年部は9月2日、フードバンクうつのみやに米の提供を行いました。同フードバンクより、コロナ禍で支援を求める声が急増し配布する米が不足しているとの相談を受け、青壮年部盟友が生産した米240kgを提供しました。

同フードバンクの徳山理事長は「今年は利用者が大幅に増加した昨年よりさらに増えている。困窮している人にとってお米の提供はありがたい」と語りました。

青壮年部の黒崎部長は「今回改めて現場の困窮を痛感した。青壮年部では今後もできることを積極的に、継続して行っていきたい」と意気込みを語りました。

来年産に向け、技術向上を とちあいか栽培講習会

とちあいか栽培のポイントを説明する渡邊技術顧問



毎

専門部は7月14（上河内営農経済センター）、同月15（南部営農経済センター）の両日、とちあいか栽培講習会を開きました。2日間で約80人が参加し、2021年産の栽培状況や来年産の出荷指導規格を確認しました。

7月14日に宇都宮市下小倉町の上河内営農経済センターで行われた講習会には地元の生産者約20人が参加。同JAの渡邊菊男技術顧問が「とちあいか栽培のポイントと栽培事例」をテーマに講演しました。

2021年産の栽培状況は、管内で30戸が栽培、このうち29の圃場で生育状況の調査を実施しました。10戸あたりの収量は最大10t、平均7.05tでした。とちあいかの管理上のポイントとして、渡邊技術顧問は「定植後は芽の数によって、その後の着果数が決まるので、早い時期から芽数を確認すること」と説明し、その他生育障害の発生原因と対策について注意を促しました。

高品質のユリ出荷を 球根切花専門部が現地検討会

球 根切花専門部は7月20日、ユリの現地検討会を宇都宮市内の5カ所の圃場で実施しました。部員や県・JAの担当者ら12人が参加し、旧盆に出荷を予定しているユリの生育状況などを確認しました。

須藤智司専門部長は「新型コロナウイルス感染の拡大が終息する兆しが見えない中での現地検討会になった。8月の旧盆に向けて品質と生育状況をしっかりと確認していく」とあいさつしました。

最初に、天谷充範さんの圃場を視察しました。ハウス内の暑さ対策や防虫対策を見学しました。この後、参加者は4カ所の圃場でつぼみの状態などの生育状況を確認しました。

JJAの担当者は「この時期は高温対策が一番重要になるが適正な管理が行われている。アブラムシやアザミウマなどの害虫が一部散見されているが、出荷に影響はない。生育も順調なので、高温の中での管理に気を付けて、販売先や消費者に良質なユリを届けたい」と総括しました。



12
ハウス内の圃場で生育状況を確認する生産者ら

ハチは農家の相棒 莓専門部上河内イチゴ青年部



上河内営農経済センターで行われた蜜蜂講習会



莓

専門部上河内イチゴ青年部は7月21日、蜜蜂講習会を上河内営農経済センターで開催しました。生産者やJAの担当者20人が出席し、ハウス内のミツバチの上手な使い方を学びました。

講習会の講師は、岐阜市の養蜂会社の担当者が務めました。ミツバチの群れは、女王蜂1匹、働き蜂数千から数万匹、雄蜂が全体の約1割程度であることを確認し、働き蜂の日齢による仕事の変化の説明を受けました。また働き蜂1匹の寿命は短いが女王蜂が卵を産み、次々と新しい働き蜂が生まれて1年が経過するとしました。ハウス内の温度管理と給餌(餌やり)の重要性を訴えました。

最後に「ミツバチは家畜だ。法定伝染病などの病気を蔓延させる恐れがあるので、使用後は適切な処理をお願いしたい」と結びました。

同青年部の所昌隆部長は「ハチは農家にとって相棒だ。ハチとの関わりにより、安定的な収穫と品質の向上につながる良い講習会ができた」と総括しました。

▶最後まで高品質の出荷を 梨専門部が幸水の目ぞろえ会

河内野菜集荷所で行われた
令和3年産梨幸水出荷目ぞろえ会

梨

専門部は7月27、28の両日、「令和3年産梨(幸水)出荷目ぞろえ会」を清原、雀宮、河内、城山の支部ごとに宇都宮市内の各支部集荷所で開催。150人が参加し、出荷規格や品質向上対策などを確認しました。

河内支部は7月28日、宇都宮市中岡本町の河内野菜集荷所で実施し、部員、県、全農とちぎ、JAの担当者ら30人が参加しました。戸泉勇作支部長は「春先に天候不順や降



ひょうがあったが、例年並みの結実状況になっている。単価も期待できると思う。コロナウイルスの感染拡大が続いているので、健康にはこれまで以上に気を付けて、最後まで高品質の出荷を続けてほしい」とあいさつしました。

県河内農業振興事務所の担当者が8月のナシの菅理ポイントとして、果実肥大状況や収穫出荷調整、病害虫防除について説明しました。全農とちぎの担当者が販売情勢を報告し、8月16日の週が出荷のピークになるとの見通しを示しました。幸水は8月末まで、京浜地区を中心に県内などに出荷されました。

代表者会議に出席したな花会のメンバー



なの花会グループ代表会議（8月6日）
今年度前半の各グループの活動状況を報告・確認し、コロナ禍でも地域貢献できるような今後の活動を検討しました。

参加者に配布した野菜セット



寄せられた料理の絵

アグリスクール

「トウモロコシ収穫体験」中止
(8月7日)

上河内営農経済センターから参加者に
トウモロコシを含めた夏野菜セットをプレゼント！
野菜を受け取った方に家庭で作った料理を紹介してもらいました。

J A 直売所で販売中の
パックご飯



パックご飯購入運動を実施（8月25日）



納品されたパックご飯とJA役員

JAは宇都宮市戸祭元町の本所で、役職員による米消費拡大と主食用米の需給状況の理解を深めることを目的として、パックご飯の購入運動を行いました。横松久夫組合長は「美味しい栃木のこしひかりを、炊き立てと同じように召し上がっていただける。コロナ禍のおうちごはんに役立てほしい」と語りました。

組合員の皆さまからの地域の話題や活動報告をお待ちしております。写真を添えてお送りください。
※紙面の都合上、掲載されない場合もありますのでご了承願います。詳しくは総務課組合員広報係まで。

管内インフォメーション

組合員のアクティブ・メンバーシップの確立に向けて 信頼度・対話力アップ研修会



あいさつする佐藤専務

JAは7月29日、宇都宮市戸祭元町の同JA本所で「信頼度・対話力アップ研修会」を開催。若手職員12人が受講しました。

同研修会は組合員のアクティブ・メンバーシップの確立に向けて、組合理念およびJAの果たす役割について理解を深めるとともにコミュニケーションスキルなどの習得を目的としています。

J Aの佐藤俊伸専務は「JAの理念に立ち返るのがアクティブ・メンバーシップだと理解している。今回の研修を有意義なものにしてほしい」とあいさつしました。

研修会では組合員のアクティブ・メンバーシップ確立に向けた取り組みや課題について学びました。グループ討議では、組合員との関係性を深め、JAの事業利用や活動への参加を高めるための対策について話し合いました。

J Aでは今後も同研修会を継続的に行い、人材育成に力を入れていきます。

令和2年度認定就農研修制度IN先進農家研修修了式



公 益財団法人宇都宮市農業公社は7月29日、宇都宮市元今泉7丁目の農業公社で令和2年度認定就農研修制度IN先進農家研修修了式を開催。研修生や関係者23人が参加しました。

同研修制度は宇都宮市農業公社が新規就農希望者を対象に、JAの推薦する先進農家の下で実地研修を行うものです。令和2年度は4人が研修を修了しました。

研修生は農業の技術や経営について学ぶために約1年間、先進農家の指導の下で研修を受けました。植竹崇さん(39)、鈴木隆則さん(37)、大久保秀一さん(43)の3名がイチゴ。小野和己さん(49)がアスパラガスでそれぞれ研修を修了しました。

J Aの見形繁常務は「地域農家とのつながりを大事にしてほしい。お手本になるように頑張っていただきたい」と激励の言葉を贈りました。修了生の鈴木さんは「イチゴ以外にも、農業において大切な知識・技術を教えていただいた。今後も勉強し、成長していきたい」と意気込みを語りました。



令和2年度の修了生ら

JAうつのみや農業祭中止のお知らせ

日頃より当事業につきましては、ご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、11月に以下の農業祭の開催を予定しておりましたが、現在においても新型コロナウイルス感染症の収束が見通せないため、やむを得ず開催を中止することといたしました。

開催を楽しみにしてくださった皆さまには大変申し訳ありませんが、何とぞご理解くださいますようお願い申し上げます。次回のご来場を心よりお待ちしております。

地区	イベント名	問合せ先
宇都宮	令和3年度宇都宮市農林業祭	農業部 営農企画課 TEL: 028-625-3388
上河内	上河内ふれあいまつり収穫祭	上河内営農経済センター TEL: 028-674-2164
河内	かわちふるさとまつり2021	河内営農経済センター TEL: 028-673-6911
南河内	南河内地区農業祭	南河内営農経済センター TEL: 0285-48-2215
上三川	上三川地区農業祭	上三川営農経済センター TEL: 0285-55-1511

宇都宮市農林業祭からのお知らせ

宇都宮市農林業祭では、フラワーディスプレイを実施いたします。市内の花き生産者が生産した洋蘭やバラなどを使用した大型装飾花を展示いたします。市役所へお越しの際は、ぜひお楽しみください。

場所: 宇都宮市役所1階 市民ホール
日程: 11月15日(月)~17日(水)



※例年行っている頒布販売について、本年度は実施いたしません。

麦



基本技術の励行

実需の求めている麦の品質とするには、土づくり・排水対策・適正施肥・適期播種・病害虫防除・適期収穫などの基本技術を積み重ねることが重要です。(令和3年産の蛋白含量分析結果や、表1を参考に適期播種・適正施肥に取り組みましょう。)

排水対策の徹底

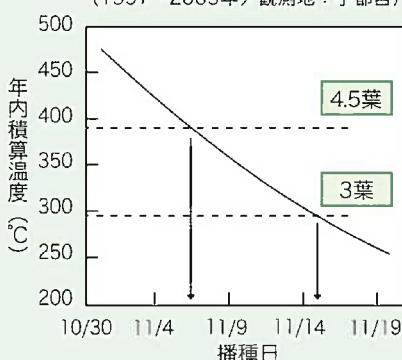
麦は湿害に弱く、すべての生育期間で湿害を受けやすい作物です。最近

播種量と施肥量の基準

品種名	播種量(ドリル播)	施肥基準(窒素成分)
ニューサチホ ゴールデン	8.5kg/10a	6.5~8.0kg/10a
さとのそら	7~8kg/10a	10~11kg/10a
ゆめかおり	7~8kg/10a	12kg/10a (ゆめ専用肥料60kg/10a) 追肥: 2~4kg/10a

表1

図1 【播種日と年内積算温度との関係】
(1997~2009年／観測地：宇都宮)



適正な播種時期の目安は、年内に葉齡3葉程度を確保し、根張りを十分にさせると同時に、目標穗数の8割以上の茎数を形成する時期です。
県央部(宇都宮)で年内に3~4.5葉を確保するための積算温度は300~400°Cなので(図1)、播種は11月6日~15日が適期になります。

適期より播種が遅れると①凍上害や倒伏が発生しやすい②分けつが少ない③生育が遅れ、登熟日数が短くなり、整粒歩合が低くなる④蛋白質含有率・硝子質率が増加する⑤赤かび病

大豆の収穫は、早すぎると刈り取り時に茎汁等による汚損粒や破碎粒が発生し、遅れると自然裂莢による収穫が発生し、刈り取りは茎や莢の表面が乾いていた時は1~2日待って判断します。刈り取りは茎や莢の表面が乾いている晴天の10~16時頃に行うようにし、刈り取りの高さは10cm以上とし、刈り残しが出ない程度になるべく高く刈りましょう。その時には必ず10m程度試し刈りを行い、品質をチェックしましょう。

は、地球温暖化の影響で、雨が激しく降る傾向が強く、降水量が多くなっています。排水対策として①地表排水(排水溝設置)②浸透排水(心土破碎)③畝立て同時播種栽培を行いましょう。排水溝(明きよ)は排水口と確実につながっているか、確認しましょう。

(排水溝設置)②浸透排水(心土破碎)
(3)畝立て同時播種栽培を行いましょ

種子消毒

近年、大麦斑葉病やなまぐさ黒穂病の発生が見られます。種子伝染性病害を防除し、高品質麦を安定生産するため、種子消毒を行いましょう。

大豆



や穂発芽、低アミロ麦の発生が増加するなど、品質や収量に影響が出やすくなります。

青立ち株・大型雑草の除去

収穫前には必ず青立ち株や大型雑草を除去し汚損粒の発生を防止しましょう。

適期に収穫を

コンバインによる収穫は、汚損粒の発生を防ぐため茎水分が40%以下、破碎粒発生を防ぐため子実水分18%以下になつてから行います。表2を参考に適期を判断しましょう。降雨があった時は1~2日待つて判断します。

刈り取りは茎や莢の表面が乾いている晴天の10~16時頃に行うようにし、刈り取りの高さは10cm以上とし、刈り残しが出ない程度になるべく高く刈りましょう。その時には必ず10m程度試し刈りを行い、品質をチェックしましょう。

排水溝の点検

収穫前には圃場の排水溝を点検し、不意の大雨があつても速やかに排水ができるようにしておきましょう。降雨による作業の遅れは、麦の播種の遅れにもつながるので、排水溝を点検補修し、降雨による作業の遅れを最小限抑えましょう。

- 茎水分の目安
 - 70% 緑色が残る
 - 60% 茎と同じ褐色
 - 40% ほとんどの茎が黒変開始し、剥皮率が30%程度
 - 手で折ると軽くパキッと折れる
- 子実水分の目安
 - 20% 噙むと音がせずに割れる
 - 18% 爪を立てると少しあとが残る
 - 15% 噙むとパリッと割れる
 - 剥皮率 (30%程度)
 - 皮の剥げる長さ ÷ 主茎長 × 100

表2

みどり会国本支部活動について

新

型コロナウイルスの影響で本来の支部活動が制限される中、今年度は会員が各家庭でできる活動として、ペットボトルキャップ回収運動を行っております。8月17日に1回目の回収があり、多くのペットボトルキャップが集まりました。

例年でしたら、8月にお料理教室を開催し、みんなで集まり、活動をしてきたところですが、残念ながらできない状況にあります。この状況が一日も早く収束し、会員と共に活動を再開できることを楽しみにしております。



回収したペットボトルキャップを計量する国本支部会員



みどり会河内支部活動について

み

どり会河内支部では7月14日に、毎年恒例の人気行事「ゴキブリ団子作り」を開催しました。新型コロナウイルス感染防止対策を行った上で、手早く仕上げましたが、楽しく活動ができました。

また、「SDGs」活動として、ペットボトルキャップ回収運動を支所・営経センター・ライスセンター・カントリーエレベーター・野菜集荷所で行っております。ペットボトルキャップから、できるだけ多くのポリオワクチンに繋いでいきたいと思います。



毎年恒例のゴキブリ団子作り



8月17日に行われたペットボトルキャップ回収



ワンプレートレシピ One plate recipe

秋サケの
クリームソース



材料(4人分)

秋サケ……………切身4切れ
カボチャ(乱切りして蒸したもの)…1/8個
サツマイモ(乱切りして蒸したもの)…1本
シメジ(小房にばらしておく)…1パック
モロッコインゲン
(3cm幅に切りゆでておく)…2本
イクラ……………大さじ2
生クリーム(乳脂肪分43%程度のもの)
……………200ml
白ワイン……………大さじ2
砂糖……………小さじ1
塩・こしょう……………適宜
小麦粉……………少々
サラダ油……………小さじ1
バター……………小さじ1

作り方

- ① フライパンにサラダ油を熱し、小麦粉をはいた秋サケを中火で両面焼き、白ワインを入れ、いったん火を止める。
- ② ①のフライパンにバター、カボチャ、サツマイモ、シメジ、生クリーム、砂糖を入れ、弱火にして塩・こしょうをして10分ほど煮込む。
- ③ ソースがとろりとしてきたら器に盛り付け、モロッコインゲンを添え、イクラをかけて出来上がり。

茨城県笠間市にある
天晴(旧キッチン晴人)
オーナーシェフ
ながいともかず
永井 智一



シェフ永井のおすすめ



今月の直売所情報

お米の特売日

JAグリーンインターパーク
直売所 每月第3日曜日(10/17)

JAうつのみや お奨めのみやおとめ
(コシヒカリ)をお買い得価格にて販売します!!



JAグリーンかみかわち
直売所 每月8の付く日(10/8, 18, 28)

新米は
JA直売所で!!

11/1~3/31の期間、下記のとおり営業時間が冬時間に変更となります。

店舗	開店時間	閉店時間	定休日
JAグリーンインターパーク 直売所	午前9時	午後4時	第2 火曜日

南河内グリーンセンター 生産者さん募集!!

詳しくは南河内営農経済センター
TEL: 0285-48-2215
営農課 森田・上野まで

城山支所

だより

各支所の活動や地域の情報を届けします!



石のまちにある城山支所



大谷石のJAマークと窓口職員が笑顔でお出迎え

外壁・柱に大谷石が使用された建物



見る・食べる体験するスポット
支所周辺には盛りだくさん

宇都宮駅から大通りを西に車を走らせる
と、7kmを過ぎたころ大谷街道沿い左側に
城山支所が見えてきます。大谷街道といえば
大谷石ですが、大谷石は、今からおよそ
2,000万年前の火山噴出により堆積した凝灰岩で、
宇都宮の北西・大谷地区周辺で産出さ
れることから、通称、大谷石といわれていま
す。大谷地区は城山支所管内の中心に位置し
ており、外壁や柱にふんだんに大谷石が使わ
れている城山支所は、地域の景観に溶け込ん
でいます。さて建物に入ると、店舗入口ホー
ルにてやはり大谷石で作られたJAマークが
皆さまをお出迎えいたします。何気なく通り
過ぎてしまうかもしれません、お越しの際
にはぜひ足を止めてご覧ください。

職員は総勢15名体制です。組合員・地域
の皆さんに愛され、安心して利用できる店舗
を目指して日々の業務を行っております。皆さ
まのライフプランに合わせて、貯金・融資・投
資信託・共済等により全力でサポートさせて
いただきますので、何かお困りのことがありま
したらお気軽にご相談ください。皆さまのお
越しを職員一同、笑顔でお待ちしております。

また、大谷地区周辺には、カフェ、レストラ
ン、パン、最中などの美味しいお店や、大谷石
工体験、大谷資料館などさまざまなスポット
があります。支所にお立ち寄りの際は、少
し足を延ばして散策してみてはいかがでしょ
うか。

なお、大谷資料館は、大谷翔平選手の資料
館ではありませんので、お間違えのないよう
にしてください。



各種お問い合わせはこちらへ

支所・センター電話番号

中央支所	028-633-3467	南河内支所	0285-48-2211
宝木出張所	028-622-6111	上三川支所	0285-55-1510
平石支所	028-661-4311	宇都宮北部営農経済センター	028-665-0550
南部支所	028-656-1020	宇都宮西部営農経済センター	028-658-6565
城山支所	028-652-0711	宇都宮南部営農経済センター	028-656-8484
北部支所	028-665-0003	宇都宮東部営農経済センター	028-660-3535
豊郷支所	028-624-8011	上河内営農経済センター	028-674-2164
清原支所	028-667-0151	河内営農経済センター	028-673-6911
姿川支所	028-658-6881	南河内営農経済センター	0285-48-2215
上河内支所	028-674-3333	上三川営農経済センター	0285-55-1511
河内支所	028-673-3155		

▣ キャッシュカードの紛失・盗難
フリーダイヤル0120-082065

▣ 夜間・土・日・祝祭日の自動車事故(24時間受付)
事故受付センター フリーダイヤル0120-258931

■ JA葬祭(24時間受付)
アトラス宇都宮ホール 028-660-5555
アトラスファミリーホール鶴田 028-633-9200
アトラス上三川ホール 0285-55-1555

■ LPガス関係 灯油・軽油・A重油の配達
フリーコール 0800-700-0085(通話無料)
※緊急連絡先028-633-0085